

学振特別研究員の申請に向けて

2024年5月の申請に向けて

初めの一步!

大学院生、ポスドク研究員の皆さん

日本学術振興会の特別研究員制度とは、若手研究者が自由な発想のもと主体的に研究に専念できるよう、生活費として使用できる研究奨励金（2023年度/R5支給額：DC月額20万・PD月額36.2万）に加え、研究のために必要な研究費も十分に支給される制度です。

文学院でも、これまでに多くの大学院生・ポスドク（博士研究員）が特別研究員に採択され、研究活動に取り組んでいます。

今回のセミナーでは、特別研究員DCに内定した方と現在、特別研究員PDとして研究を行っている方に申請に向けての心構えや申請準備のポイントについて、ご自身の経験を踏まえながらお話しいただきます。また審査員経験や申請書作成指導の経験豊かな教員からのコメントもあります。

学振特別研究員やDC、PDといった言葉を初めて聞いた方や既に来年5月の申請を検討されている方はもちろん、“研究者”という将来のキャリアパスについて考えたい方は、是非ふるってご参加ください。

実際の申請書作成はまだまだ先でも、大学院進学を考える研究生や学部生もお気軽にご参加ください。

12/21(木)

18:15~19:45

オンライン (Zoom)

要事前申込

締切

12/20正午



話題提供者：

清水颯さん (R6・DC2 哲学倫理学研究室)

「成功と失敗から学ぶ学振DCを勝ち抜く戦略」

平岡和さん (R6・DC2 考古学研究室)

「学振DC1・DC2申請体験記」

鎌谷美希さん (R6・PD 元文学研究院特任助教・

心理学研究室)

「わかりやすさを磨く

—C評価から採択されるまでの経験に基づいて—」

教員コメンテーター：

田村 容子 (中国文化論研究室・教授)

近藤 智彦 (哲学倫理学研究室・准教授)

林寺 正俊 (宗教学インド哲学研究室・教授)

司会・全体総括：

笹岡 正俊 (地域科学研究室・教授)

みんなはいつごろから準備始めてるのかな..
アルバイトはできるのかな, 例えばTAやRA?

受入研究者の先生にはいつごろ相談しよう..
先輩もすぐ参考になったらいいよ..

まずは何からすればいい?
学振てなに?



お問い合わせ

文学研究院 研究推進室 (研究棟2階203室) Tel: 011-706-4023 E-mail: kenkyu@let.hokudai.ac.jp
公式ウェブサイト <https://www.let.hokudai.ac.jp/>

